

各 位

平成 16年11月 1日

会 社 名 杏林製薬株式会社
代 表 者 代表取締役社長 荻原郁夫
コード番号 4560(東証第一部)
本社所在地 東京都千代田区神田駿河台2-5
問い合わせ先 経理部長 伊藤 洋
TEL (03) 3293 - 3420

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 16年 5月 12日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 平成17年3月期 連結中間業績予想数値の修正(平成 16年 4月 1日 ~ 平成 16年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益
前回発表予想(A) (平成 16年 5月12日 発表)	30,300	1,800	700
今回修正予想(B)	31,000	1,900	1,300
増減額(B-A)	700	100	600
増減率	2.3	5.6	85.7
前期(平成15年9月中間期)実績	30,831	3,336	4,643

2. 平成17年3月期 中間業績予想数値の修正(平成 16年 4月 1日 ~ 平成 16年 9月 30日)

(単位:百万円、%)

	売上高	経常利益	中間(当期)純利益
前回発表予想(A) (平成 16年 5月12日 発表)	29,600	1,800	700
今回修正予想(B)	30,400	1,800	1,100
増減額(B-A)	800	0	400
増減率	2.7	0	57.1
前期(平成15年9月中間期)実績	30,137	3,291	4,614

3. 理 由

当中間期の売上高につきましては、海外売上高が米国ブリストル・マイヤーズ スクイブ社のテクインバルクと米国アラガン社のザイマー点眼液の売上増加により当初予想を上回り、その結果、当中間期の売上高予想(連結)は310億円と当初予想を上回る見込みとなりました。

収益面では、売上高が当初予想を上回るものの売上原価が当初予想を上回り、経常利益はほぼ当初予想通りとなる見通しです。中間純利益(連結)につきましては、特別損失として上期に織り込んでおりました早期退職による退職加算金約5億円の下期への期ずれにより13億円となり、当初予想を上回る見通しとなりました。

4. その他

平成17年3月期通期実績の連結及び個別の業績予想につきましては、現在見直し中であり、当中間期決算発表時(11月8日予定)に開示させていただきます。

備 考

本資料に含まれる業績予想及び将来の予測は、現時点で入手される情報に基づくものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれております。したがって、実際の業績は、様々な要因によりこれらの予想と異なることがありますことをご承知おき下さい。